

発掘された名前

2023 4/21 [金] - 12/17 [日]

観覧無料

新潟県埋蔵文化財センター

| 開館時間 | 午前9時～午後5時

期間中は休館日無し



三国真人刻書瓦 (佐渡博物館)

威奈大村骨蔵器 (レプリカ)
(新潟県立歴史博物館)

新潟県の歴史を書きかえた古代から中近世までの木簡・墨書土器をはじめとする
県内で出土した文字資料の中から、「名前」に焦点を当てます。

人名、役所名、施設名、地名など多様な「名前」からみえる人と社会の実像に迫ります。

主催 新潟県埋蔵文化財センター 指定管理：公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

後援 新潟日報社／朝日新聞新潟総局／毎日新聞新潟支局／読売新聞新潟支局／
NHK新潟放送局／BSN新潟放送／NST新潟総合テレビ／
TeNYテレビ新潟／UX新潟テレビ21／ラジオチャット・エフエム新津



まいぶんちゃん



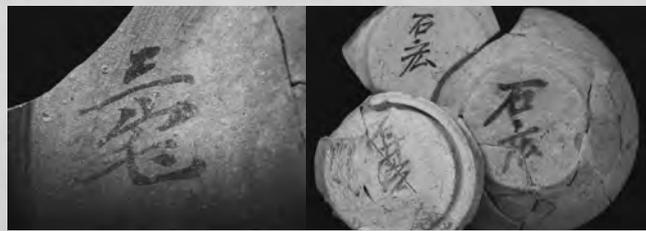
佐渡を世界遺産に



新潟県埋蔵文化財
センターHP

発掘された名前

2023 4/21[金] - 12/17[日]



馬越遺跡「三宅」
(加茂市教育委員会)

岩ノ原遺跡「石井庄」

展示替えのご案内

展示品保護のため複数回の展示替えがあります。詳細は、HP等でご確認ください。

	第1期	第2期	第3期
新潟市文化財センター所蔵の展示品	4月21日～6月29日	6月30日～9月21日	9月22日～12月17日
長岡市教育委員会所蔵の展示品	4月21日～6月15日	7月14日～9月7日	10月20日～12月17日

佐渡市教育委員会所蔵の展示品は4月21日～10月31日、五泉市教育委員会所蔵の展示品は7月1日～12月17日までの展示です。

会期中の講演会

時間 13:50～15:20 (13:20開場)

聴講無料・先着80名・事前申込不要・
オンライン配信限定50名・HPから要申込。

日程	講演会名	講師
1 4月23日(日)	「企画展1の見どころ」	佐藤友子(新潟県埋蔵文化財センター)
2 5月14日(日)	「発掘された古代人名録(男性編)」	小林昌二氏(新潟大学名誉教授)
3 5月28日(日)	「史跡 斐太遺跡群 釜蓋遺跡の発掘調査」	湯尾和広氏(上越市教育委員会)
4 6月25日(日)	「発掘された古代人名録(女性編)」	浅井勝利氏(新潟県立歴史博物館)
5 7月16日(日)	「はじめてのジェンダー考古学」	菱田淳子氏(兵庫県立考古博物館)
6 7月30日(日)	「小千谷の遺跡 最前線!～モノと地形から読み取る小千谷の特徴～」	白井雅明氏(小千谷市教育委員会)
7 8月6日(日)	「文字資料から見た越佐の地名」	相澤 央氏(帝京大学)
8 8月27日(日)	「発掘された中世文字資料から見えたもの」	前嶋 敏氏(新潟県立歴史博物館)
9 9月10日(日)	「古代の文字文化とジェンダー」	三上喜孝氏(国立歴史民俗博物館)
10 10月29日(日)	「新潟市内から発掘された名前」	奈良佳子氏(新潟市文化財センター)
11 11月19日(日)	「長岡市内から発掘された名前」	丸山一昭氏(長岡市立科学博物館)

交通のご案内

第1回「まいぶんまつり」 6月4日(日) 花と遺跡のふるさとフェスタも同日開催! イベント多数
第2回「まいぶんまつり」 10月9日(月・祝) 花と遺跡の秋まつりも同日開催。詳細はHPで。



まいぶんちゃん



※新潟西ICは福島方面からの出入はできません

■ JR

古津駅から徒歩約25分、新津駅からタクシー約15分

■ 車

磐越自動車道、新津ICから国道460号線經由国道403号三条・加茂方面へ、約15分
道順は、国道403号「県立植物園入口」交差点に大きな案内看板あり。公園内メイン道路から新潟美術館と
県立植物園の間の赤レンガ道を直進400m。

■ バス

新津駅東口から、秋葉区バス「新津駅西口行」に乗車約25分、「美術館・植物園前」下車。
徒歩3分など

■ 駐車場

駐車場(無料)76台、障がい者用1台(正面玄関前)

指定管理者:公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

〒956-0845 新潟市秋葉区金津93番地1

TEL:0250-25-3981 FAX:0250-25-3986

ホームページ: <https://www.maibun.net/>

SNSで情報発信しています

Twitter



Facebook



YouTube

